

# 第52期 事業報告書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

公益財団法人 札幌交響楽団

公益財団法人札幌交響楽団は、定款第2章第3条に基づき、交響管弦楽による音楽芸術の普及向上に関し、必要な事業を行い、もって札幌市及び北海道における文化と教育の振興に寄与することを目的とする事業を行った。

定款第2章第4条に掲げる事業を次のように行った。

平成23年度のオーケストラによる公演

## (1) 札幌交響楽団を編成し、及び維持すること。

### 1. 評議員、役員等及び事務局

評議員20名、理事20名、監事2名、事務局員13名（4頁参照）

### 2. 交響楽団の編成

音楽監督、正指揮者、首席客演指揮者 各1名、楽団員73名（平成24年3月末日現在）  
ステージスタッフ、ライブラリアン及びパーソネルマネージャー 計4名（5頁参照）

### 3. 音楽監督、正指揮者及び楽団員は、次の回数の公演に出演し練習に従事した。

音楽監督 出演回数 35回、練習日数 31日（50周年事業を含める）

正指揮者 出演回数 35回、練習日数 27日

首席客演指揮者 出演回数 3回、練習日数 5日

交響楽団としての出演回数は合計122回、練習日数120日（50周年事業を含める）

この他小編成による教育や福祉関係の活動49回

なお交響楽団として移動日も含めての稼働日数は248日

## (2) 交響管弦楽の演奏を行うこと。

### 1. 自主公演

#### 【定期演奏会】

平成23年4月から平成24年3月までに1プログラムにつき2回ずつの公演を実施、計20公演実施した。

定期演奏会は札幌交響楽団の活動の主軸になる公演。尾高が4回、高関が2回、エリシュカが1回指揮した。9月から12月までの4回の定期演奏会と特別演奏会「札幌の第9」とで50周年記念「ベートーヴェン・ツィクルス」を企画、ベートーヴェンの全交響曲を演奏、大きな注目を集めた。このほかにも多彩な曲目を披露、高い評価が得られた。昨年度につづいて定期演奏会の入場者数は増加した。

#### 【名曲シリーズ】

平成23年6月から平成24年3月までに4公演実施した。

名曲シリーズは、名曲を名演で、しかも廉価に提供、多くのファンの支持を得た。

## 【特別演奏会】

札幌市内で11公演、北海道内地方で5公演、道外では東京で1公演、計17公演実施した。

### ○札幌市内公演

1. アキラさんのモダンコンサート 2011 4月17日
2. 札幌シンフォニック・プラス 2011 5月7日
3. 清水和音のオール・ラフマニノフ・コンチェルト 7月16日・・・新企画
4. 札幌ポップス・コンサート Vol.9 7月20日
5. 「海の日」記念チャリティコンサート 7月24日
6. 7. アキラさんの大発見コンサート 2011 (2公演) 8月7日
8. コバケンの「未完成」「運命」「新世界」 8月30日
9. Kitara&札幌セレクション「北の精鋭アーティストたちⅡ」 9月16日
10. 11. 札幌の第9 (2公演) 12月17日、18日

### ○北海道内地方公演

札幌交響楽団は北海道唯一のプロオーケストラとして、道内各地に優れた演奏を届けることが重大な使命である。平成23年度も初めて訪問した中頓別町をはじめ各地に活気をもたらすことに成功した。(道内で札幌が訪れたことのない地は残り8町村となった。)

1. ニセコ町公演 4月16日
2. 中頓別町公演 6月19日
3. 森町公演 9月19日
4. 小樽市公演 1月28日
5. 岩内町公演 2月26日

### ○東京公演 (ホクレン・クラシック・スペシャル 2012) 3月21日

尾高の指揮でベートーヴェンの交響曲第7番と第5番を演奏、秋に行った「ベートーヴェン・ツィクルス」の成果を満員のサントリーホールで披露、好評を博した。

## 2. 依頼公演

各種団体、企業、自治体などが主催する演奏会に依頼に応じて出演。(計47回)

○札幌市内公演・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23回

○北海道内地方公演・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23回

○北海道外公演・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1回

北海道新聞社、北海道電力、キタラ、浜松市はじめ多くの企業、自治体の支援を受けて開催。

## (3) 青少年の音楽鑑賞及び演奏に関し、指導を行い、その普及を図ること。

オーケストラによる音楽教室を次のとおり開催。(計28回)

○札幌市内公演・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15回

○北海道内地方公演・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8回

○北海道外公演・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5回

楽団員によるワークショップ(体験型音楽教室)では、小学生と音楽を通して交流を深め、鑑賞するだけでなく演奏に参加して得られる感動も広めることができた。(計18回)

○ワークショップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12回

○楽器講習会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6回

(4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業を行うこと。

50周年記念事業

○「50周年記念ヨーロッパ演奏旅行」

1. ミュンヘン公演 5月22日
2. ロンドン公演 5月23日
3. サレルノ公演 5月25日
4. ミラノ公演 5月26日
5. デュッセルドルフ公演 5月27日
6. 帰国記念演奏会（札幌） 6月 4日

創立50年を記念してヨーロッパ演奏旅行を成功させることができた。ドイツ、イタリア、イギリスの5都市で、尾高の指揮、諏訪内晶子の独奏で演奏、各地でスタンディングオベーションとなり、札幌が今や日本を代表するオーケストラに成長したことを証明した。

○記録録音の整理

創立以来、録音してきた札幌の演奏記録を整理、傷みが激しいアナログテープも修復、永久保存が可能なデジタルコピーを行った。

○「札幌合唱団」の育成

平成18年度に設立、育成してきた「札幌合唱団」は、平成23年度はエリシュカ指揮ドヴォルジャーク「スターバト・マーテル」、尾高指揮「ベートーヴェン・ツィクルス」での「第9」で、聴衆、評論家から高く評価された。

○「札幌交響楽団50年史」の発刊

北海道の音楽文化そのものである札幌交響楽団50年の歴史を、資料、歴史的録音によるCDを添付し発刊、好評を博した。

その他の広報宣伝活動

○プログラムの発行

定期演奏会ははじめ自主公演では毎回、音楽評論家等による研究論文、楽曲解説、楽団の活動報告、楽団員紹介を載せたプログラムを発行、公演来場者及び会員、関係先に配布。

○ニュースレターの発行

札幌交響楽団の活動報告、公演案内など、最新情報を掲載したニュースレターを年に4回発行。

○ホームページによる広報

札幌交響楽団の最新情報を流し、チケット予約を受け付けるほか、定期会員・パトロネージュ会員の入会案内を行った。

その他の演奏事業

○アンサンブル（20回）

コンサートホール以外の様々な場所でも演奏することによって、クラシック音楽に縁がなかった人にも札幌の存在をアピールした。

○慰問演奏（11回）

特別支援学校、老人ホーム、障害者施設などに楽団員が出向き、コンサートに出かけることのできない方々に音楽鑑賞の機会を提供、社会貢献活動を積極的に行なった。

公益財団法人札幌交響楽団 評議員、役員等及び事務局

評議員	安齋 勲	理事長	村田 正敏	事務局	
	宇佐美 暢子				事務局長
	長内 勲	副理事長	坂本 眞一	総務部	
	恩村 一郎		藤田 久雄		小松 将身 <small>部長</small>
	金山 正彦	専務理事	小沢 正晴	事業部	奥山 大介
	佐々木 茂				櫻田 千恵
	杉本 昭則				庄司 寿子
	相馬 秋夫				吉野 早苗
	高岡 立子				
	高橋 宗和				宮下 良介 <small>部長</small>
	中西 浩二				岸本 彩子
	原田 幸一郎				木村 奈緒
	弘中 孝	新蔵 博雅	黒田 朋子		
	藤田 道子	杉本 雅章	田鍬 敦志		
	松平 英明	高橋 賢友	種池 純子		
	三部 安紀子	高橋 充	中川 広一		
	山崎 亘	田中 良治	小林 宏次 <small>非常勤</small>		
	山田 一仁	似鳥 昭雄			
	米谷 久男	東原 俊郎			
	和田 敬友	藤田 恒郎			
	前泉 洋三				
	横内 龍三				
	渡辺 卓				
			事務局員13名(除非常勤)		
監事	鈴木 請一	理事			
	萬田 直紀				

評議員20名

監事2名

理事20名

(平成24年3月現在)

# 札幌交響楽団

音楽監督	尾高 忠明	正指揮者	高関 健	首席客演指揮者	ラドミル・エリシュカ
コンサートマスター	大平 まゆみ 特別契約 伊藤亮太郎 特別契約	チェロ	荒木 均 石川 祐支 首席・特別契約 角野 友則 猿渡 輔 武田 芽衣 副首席 坪田 亮 廣狩 理栄 文屋 治実	トランペット	佐藤 誠 福田 善亮 首席 前川 和弘 松田 次史 副首席
ヴァイオリン	東口(佐々木) 倫子 石原ゆかり 市川ウインチェンツォ 井上 澄子 大西(佐藤) 郁子 大森 潤子 首席・特別契約 岡部亜希子 織田美貴子 河邊 俊和 小林美和子 副首席 多賀 万純 竹中 遥加 土井 奏 インスペクター 富田麻衣子 中村菜見子 橋本 幸子 福井 岳雄 三原 豊彦 山下 暁子 横井 慎吾	コントラバス	飯田 啓典 副首席 大澤 敬 斎藤 正樹 助川 龍 首席 信田 尚三	トロンボーン	田中 徹 中野耕太郎 副首席 山下 友輔 首席
		フルート	高橋 聖純 副首席 森 圭吾 首席 山崎 衆	バスロンボーン	野口 隆信
		オーボエ	岩崎 弘昌 首席 宮城 完爾 副首席	テューバ	玉木 亮一
		クラリネット	白子 正樹 副首席 多賀 登 インスペクター 三瓶 佳紀 首席	ティンパニ、打楽器	大垣内英伸 大家 和樹 藤原 靖久 副首席 武藤 厚志 首席
		ファゴット	坂口 聡 首席 夏山 朋子 村上 敦 副首席		楽団員計73名
ヴィオラ	荒木 聖子 遠藤 幸男 仁木 彩子 橋本純一郎 廣狩 亮 首席・特別契約 水戸 英典 三原 愛彦 物部 憲一	ホルン	市川 雅敏 岩佐 朋彦 副首席 折笠 和樹 菅野 猛 島方 晴康 橋本 敦 首席	パーソナルマネージャー	高井 明
				ステージマネージャー	田中 正樹
				ステージスタッフ	松本 了英
				ライブラリアン	中村 大志
					スタッフ計4名

(平成24年3月現在)

公演回数及び入場者数 実績推移表

公益財団法人札幌交響楽団

フルオーケストラ

(平成24年5月9日作成)

			H 16年度		H 17年度		H 18年度		H 19年度		H 20年度		H 21年度		H22年度		H23年度		H24年度計画
			公演回数	入場者数	公演回数	入場者数	公演回数	入場者数	公演回数										
自主公演	定期公演	市内	11	16,156	20	26,149	20	28,477	20	29,320	20	29,187	20	28,593	20	28,648	20	28,967	20
		市内	12	20,443	15	22,410	15	25,543	12	20,484	13	22,199	13	23,192	16	27,333	15	24,521	15
	特別公演	道内	0	0	1	1,178	2	2,275	4	2,634	5	4,936	10	6,056	5	3,378	5	3,203	5
		道外	2	2,483	1	1,838	1	1,646	1	1,662	1	1,177	1	1,350	1	1,839	1	1,812	1
	小計		25	39,082	37	51,575	38	57,941	37	54,100	39	57,499	44	59,191	42	61,198	41	58,503	41
依頼公演	市内		39	57,946	24	42,046	34	56,485	23	44,196	25	49,928	27	43,379	27	41,017	23	47,095	24
	道内		34	25,080	27	21,507	28	22,405	29	25,136	23	15,252	22	16,478	25	17,936	23	15,606	21
	道外		3	1,922	5	5,100	0	0	0	0	1	569	0	0	0	0	1	1,300	0
	小計		76	84,948	56	68,653	62	78,890	52	69,332	49	65,749	49	59,857	52	58,953	47	64,001	45
音楽教室	市内		15	22,388	16	22,023	14	20,959	16	22,013	19	26,683	15	20,300	20	24,355	15	23,749	14
	道内		9	12,267	7	8,350	12	11,681	9	8,112	13	10,205	10	7,108	11	7,645	8	8,422	10
	道外		2	1,282	0	0	3	1,598	10	4,183	4	1,291	4	2,158	5	2,248	5	1,582	10
	小計		26	35,937	23	30,373	29	34,238	35	34,308	36	38,179	29	29,566	36	34,248	28	33,753	34
合計			127	159,967	116	150,601	129	171,069	124	157,740	124	161,427	122	148,614	130	154,399	116	156,257	120

韓国公演(福岡含め3公演)は除く

欧州公演、帰国公演の6公演は除く

小編成(アンサンブル)

			H16年度		H 17年度		H 18年度		H 19年度		H 20年度		H 21年度		H22年度		H23年度	
			公演回数	入場者数	公演回数	入場者数	公演回数	入場者数	公演回数	入場者数	公演回数	入場者数	公演回数	入場者数	公演回数	入場者数	公演回数	入場者数
小編成	音楽教室		30	5,121	37	6,012	19	3,772	40	3,895	27	3,383	27	3,045	29	2,842	18	1,650
	アンサンブル		49	33,170	37	8,100	24	5,900	19	24,550	13	2,480	17	6,520	19	5,530	20	5,781
	慰問演奏会		11	1,850	14	2,330	15	2,710	17	2,270	16	2,170	17	1,850	18	2,350	11	1,580
合計			90	40,141	88	16,442	58	12,382	76	30,715	56	8,033	61	11,415	66	10,722	49	9,011

総計	217	200,108	204	167,043	187	183,451	200	188,455	180	169,460	183	160,029	196	165,121	165	165,268
----	-----	---------	-----	---------	-----	---------	-----	---------	-----	---------	-----	---------	-----	---------	-----	---------

会員状況推移表

年度末現在	H 16年度 (17.3.31)	H 17年度 (18.3.31)	H 18年度 (19.3.31)	H 19年度 (20.3.31)	H 20年度 (21.3.31)	H 21年度 (22.3.31)	H 22年度 (22.3.31)	H 23年度 (23.3.31)
定期会員数	1,364	1,947	2,022	2,100	1,963	1,911	1,973	2,022
維持会員数 (パートネーション会員数)	法人	272	285	282	290	278	261	251
	個人	225	223	214	197	201	192	181
	合計	497	508	496	487	479	453	432

# 札幌交響楽団 平成23年度活動報告

平成24年5月9日作成

公益財団法人 札幌交響楽団

札幌市中央区中島公園1-15

札幌コンサートホール内

<http://www.sso.or.jp>

# 札幌交響楽団の活動

オーケストラ演奏会 計122公演(50周年事業6公演を含む)

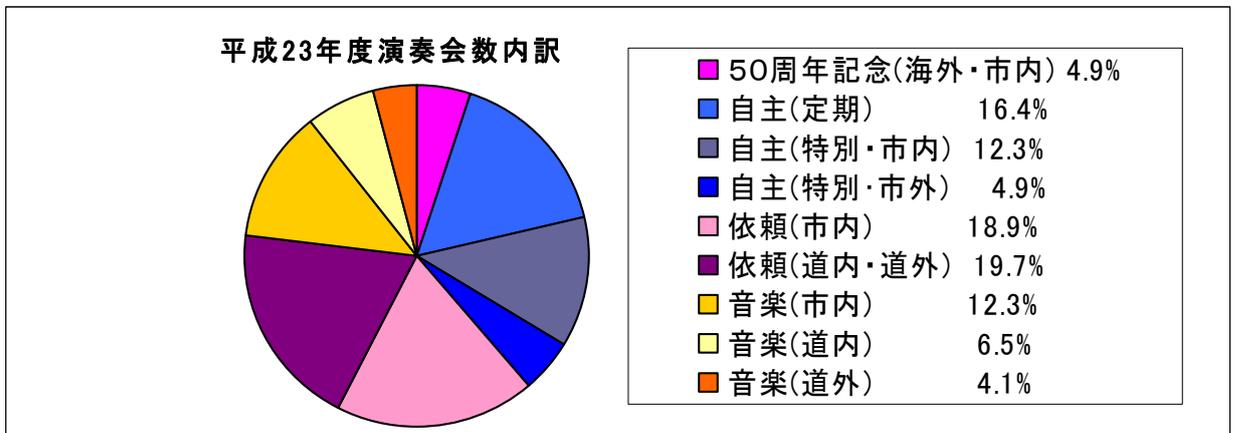
■ 自主公演(41公演)

定期演奏会(札幌市内)	20公演
札幌市内	15公演
北海道内	5公演
北海道外	1公演

■ 依頼公演(47公演)

■ 音楽教室(28公演)

■ 50周年記念ヨーロッパ公演(帰国記念演奏会含め) 6公演



教育・地域活動、アンサンブル演奏 計 49公演

**総計 171公演**

# 自主公演 札幌が主催する演奏会です。

## ■ 定期演奏会 年10回 20公演

## ■ 札幌市内公演 年15公演

札幌名曲シリーズ

アキラさん(宮川彬良)のコンサート(モダン、大発見)

札幌シンフォニック・ブラス

清水和音のオール・ラフマニノフ・コンチェルト

札幌ポップスコンサートvol.9

「海の日」記念チャリティコンサート

コバケン(小林研一郎)の「未完成」「運命」「新世界」

北の精鋭アーティストたちⅡ

札幌の第9



定期演奏会と第9公演でベートーヴェンの交響曲全曲を演奏する「ベートーヴェン・ツィクルス」を実施した。

## ■ 北海道内公演 年5公演

ニセコ町公演

中頓別町公演(札幌初訪問地)

森町公演

札幌ニューイヤーコンサートin小樽

岩内公演

## ■ 北海道外公演 年1公演

東京公演2012



札幌初訪問となった中頓別町演奏会、アンコールは、会場一体となった拍手で。

23年度、中頓別町へ札幌初訪問を実現。  
これにより、北海道内で札幌が訪れたことのない地は残り8町村となりました。

# 依頼公演

企業、自治体などの依頼  
で演奏会を提供しました。

## ■ 札幌市内公演

全23公演

PMF主催(2公演)

Kitara主催(チャリティーコンサートを含む4公演)

ほくでんファミリーコンサート(市内2公演)

他、札幌、道銀、HBA、999人の第9、  
さっしん、HTB、さぽーとさっぽろ、  
札幌くらぶなどの主催による公演



Kitara主催「あ・ら・かるとコンサート」は、東日本大震災チャリティーコンサートとして、指揮者、コンマス、チェロ首席などが務めた独奏も含め札幌全員が、チャリティー出演した。

## ■ 道内各地の公演

全23公演

ほくでんファミリーコンサート(道内9公演)

北海道新聞社との共催(道内11公演)

登別、稚内、函館、恵庭、滝川、釧路、  
鶴居、江別、栗山、北広島、千歳

北海道教職員厚生会コンサート(愛別)

クロネコファミリーコンサート(釧路)

グリーンコンサート(岩見沢) など



札幌で人気のアキラさんこと宮川彬良指揮による楽しいプログラムを行ったグリーンコンサート。  
札幌合唱団も出演した。

## ■ 道外公演

1公演

浜松市・札幌市音楽文化都市交  
流事業として、浜松公演が実施

# 音楽教室 青少年向けに音楽の楽しさを伝えました。

## ■ Kitaraファーストコンサート / 広域圏ジュニアクラシック

札幌市内の全小学6年生を対象としたKitaraファーストコンサート。全9公演で約14,000人が鑑賞。

さらに札幌市広域圏組合主催により近隣市町を対象としたコンサートも定着しています。

## ■ ジュニアクラシック

旭川、登別、恵庭、苫小牧、小樽、音更で例年どおり北海道新聞社などの助成を受け開催。

そのほか、Kitaraで高校生を対象とした鑑賞教室なども開催しました。

## ■ 文化庁主催・次代を担う子どもの舞台芸術体験事業(巡回公演)

文化庁主催により奈良、滋賀、和歌山県の小中学校全5校を訪問。事前に楽団メンバーがワークショップ型事前訪問を行い、オーケストラ演奏鑑賞につなげる札幌のスタイルは文化庁作成パンフレットにも掲載。



←文化庁作成の当該事業紹介のパンフレットには、実施例として札幌のプログラムが写真入りで掲載されています。



# 教育・地域活動、 アンサンブル演奏会



公立特別支援学校や各地の福祉施設での訪問演奏を年間11回実施、道内演奏会の機会に各地で展開。



ドレミの箱音楽教室など、吹奏楽に親しむ中高生を中心に、楽器の指導を行うクリニックを道内6市町で開催。



北海道議会議場コンサート、JR札幌駅の妙夢コンサートなど積極的に市民生活の中に赴き、音楽を届けるアウトリーチ活動を継続して実施。



東日本大震災の被災者に対して、義援金の募金やチャリティー演奏など様々な支援活動を。(写真は、3月に福島県いわき市を訪問した被災地支援コンサートの模様)

# “札幌創立50年記念事業”へのご支援ありがとうございます。



↑ ミラノの街に札幌のポスターが。

2001年以来2度目となったロンドン公演。→「LSOとも同じ土俵に立つ引き締まった演奏～ガーディアン誌」など、高い評価を得ることができました。

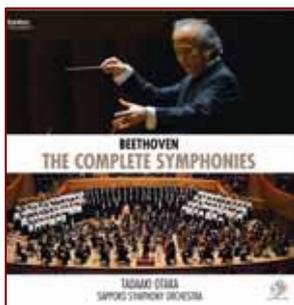
5月に実施のヨーロッパ公演は、ミュンヘン、ロンドン、サレルノ(イタリア)、ミラノ、デュッセルドルフと3カ国5都市を訪問。大震災直後の渡欧にさまざまな心配もありましたが、各地で高い評価を得ることができました。被災地への思いをのせたアンコール曲「ニムロッド」には、どの会場でも聴衆の涙する姿がみられ、「特別な」年の周年記念ツアーであることを実感しました。



↓ どの会場でもスタンディングオベーションが。



9月～12月の「ベートーヴェン・ツィクルス」の演奏会と同時にに行ったレコーディングの成果がCD5枚組の「ベートーヴェン 交響曲全集」として発売に。



尾高忠明指揮  
札幌交響楽団  
「ベートーヴェン  
交響曲全集」  
(5枚組)  
FOCD6023/7  
10,000円(税込)



創立以来の歴史をしるした「50年史」を、9月の50周年記念パーティーの機会に発刊。歴史録音のアーカイヴから抜粋し編集した特別CDも添えて限定2,000部を頒布配布しました。